

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-346186

(43)公開日 平成11年(1999)12月14日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
H 04 B 7/26  
G 06 F 9/445  
13/00 3 5 1  
// H 04 L 12/28

識別記号

F I  
H 04 B 7/26 K  
G 06 F 13/00 3 5 1 H  
9/06 4 2 0 J  
H 04 L 11/00 3 1 0 B

審査請求 未請求 請求項の数 5 FD (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-167750

(22)出願日 平成10年(1998)6月1日

特許法第30条第1項適用申請有り 1998年3月6日 社  
団法人電子情報通信学会発行の「1998年電子情報通信學  
会総合大会講演論文集 通信2」に発表

(71)出願人 000003104

東洋通信機株式会社

神奈川県高座郡寒川町小谷2丁目1番1号

(72)発明者 宮崎 義実

神奈川県高座郡寒川町小谷二丁目1番1号

東洋通信機株式会社内

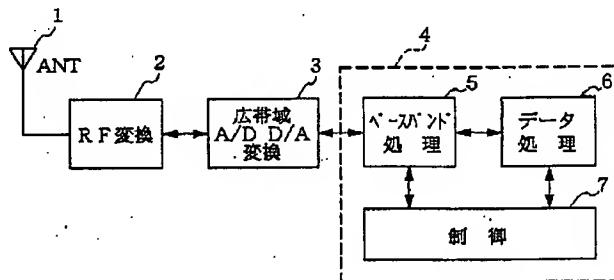
(74)代理人 弁理士 鈴木 均

(54)【発明の名称】 移動無線端末

(57)【要約】

【課題】 変復調処理等の無線機の基本機能をもダウンロードにより設定変更可能な移動無線端末を提供する。

【解決手段】 広帯域無線送受信装置1、2と、広帯域A/D-D/A変換装置3と、ソフトウェア・ラジオ技術を用いて無線デジタル信号にチャネル分離と変復調処理を含むデジタル無線通信に必要な無線ベースバンド処理5と音声帯域データ処理6と移動無線端末各部の制御処理7を実施可能なデジタル信号処理装置4を有する移動無線端末において、デジタル信号処理装置4は、無線通信に使用される受信回線から無線機能を定義するソフトウェアを含むソフトウェア・ラジオ技術を用いたソフトウェアをダウンロードして記憶し、記憶したソフトウェアを起動するようにして、無線ベースバンド処理5のダウンロードしたソフトウェアによる実施を可能とした。



修正、更には、変復調方式等の基本機能自体の変更を容易に実施することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る移動無線端末のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図2】本発明に係る移動無線端末のソフトウェア構成を示すブロック図である。

【図3】図2の通信制御部の詳細ブロック図である。

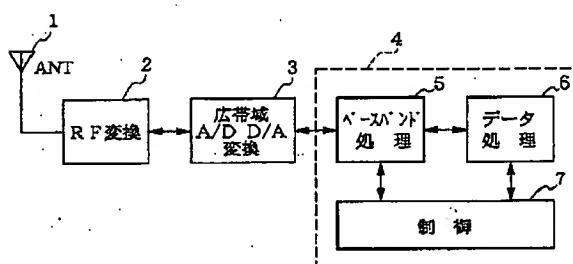
【図4】本発明に係るソフトウェアのダウンロードの概略を示すシーケンス図である。

【図5】本発明に係るソフトウェアのダウンロードの詳細を示すシーケンス図である。

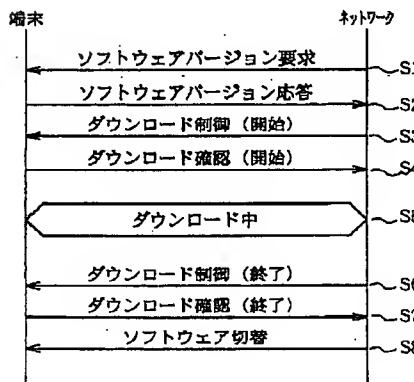
【符号の説明】

1・・・アンテナ、2・・・RF変換部、3・・・広帯域A/D-D/A変換部、4・・・ソフトウェア処理部、5・・・無線ベースバンド処理部、6・・・データ処理部、7・・・制御部、8・・・ベースバンド処理部、9・・・ダウンロード制御部、10・・・通信制御部、11・・・マネジメント部、12・・・リアルタイムOS部、13・・・レイヤ1部、14・・・レイヤ2部、15・・・レイヤ3部、16・・・高次レイヤ部(RT、MM、CC)、17・・・高次レイヤ部(HM)、81・・・チャネル分離処理、82・・・変調復調処理、83・・・ピットストリーム処理

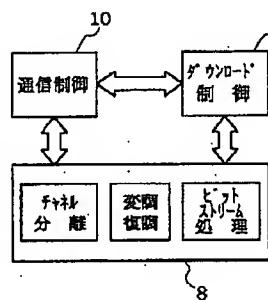
【図1】



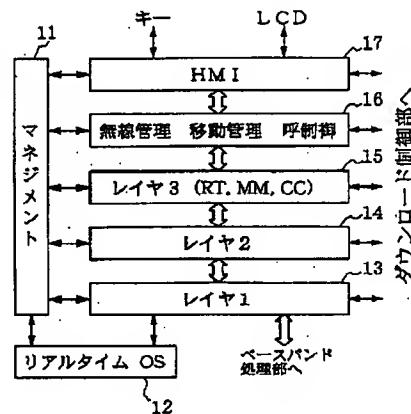
【図4】



【図2】



【図3】



【図5】

